

CyberLink
Power2Go
ユーザーズガイド



使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文のEnd User License Agreement ('EULA') の理解を補助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を払って作成しておりますが、一部意識されている部分があり、本契約の詳細につきましては英文契約書を正式文書としてご覧いただきをお願いいたします。

End User License Agreement (EULA) : 使用許諾契約書

当製品 (以下「本ソフトウェア」という) の導入およびご利用の前に、以下の使用許諾契約書 (以下「本契約書」とする) をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾されたものとします。

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様 (個人または法人のいずれであるかを問いません) とCyberLink Corp. (以下「サイバーリンク」といいます) との間に締結される法的な契約書となります。

ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中表示される本契約の同意を求める画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

使用権の許諾

サイバーリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これによりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコンピュータへインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用することができるものとします。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物 (以下「関連印刷物」といいます) の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などはできないものとします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフトウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとします。この場合、最初のお客様は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただくものとします。これにより、当該ソフトウェアのご利用ライセンスは自動的に解除されます。

所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他のすべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、その一切についてサイバーリンクに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利は、すべてサイバーリンクによって留保されます。

アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の使用権は本ソフトウェアの使用権に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意されたものとし、お客様による従来製品の使用、ならびに第三者への譲渡はできなくなります。

第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコンテンツを再生し利用する場合、その権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。

保証及び責任の限定

サイバーリンクは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェア又は関連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

サイバーリンクは、本ソフトウェア及び関連印刷物の機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフトウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。

お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを含む一切を、物理的および電子的に読み取りできない状態で破棄するとともに、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。本契約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾における法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act. に準ずるものとします

著作権

All rights reserved. CyberLink

Corporationの文書による許可なく本書の一部あるいは全部を作り変えたり、検索システムに保存したり、あるいは電子的、機械的、フォトリコピー、記録の方法を含め、いかなる方法においても転送することを禁止します。

法律の認める範囲において、Power2Goは情報、サービス、またはPower2Goに関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらず、いかなる保証も行わず現状のまま提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様はCyberLinkがこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。

Power2Goは本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

本社

所在地

CyberLink Corporation
15F., No. 100, Minquan Rd., Xindian Dist.
New Taipei City 231, Taiwan (R.O.C.)

Web サイト

<http://www.cyberlink.com>

TEL

886-2-8667-1298

FAX

886-2-8667-1300

Copyright (c) 2017 CyberLink Corporation. All rights reserved.

目次

紹介	1
はじめに	1
最新機能	1
Power2Go バージョン	3
対応メディア	5
対応するファイル タイプ	5
対応するディスク タイプ	5
システム 要件	5
Power2Go の作業領域	7
CyberLink Power2Go のモード	9
Power2Go デスクトップ書き込みガジェット モード	9
Power2Go フル プログラム モード	12
データ ディスク	18
データ ディスクを作成、書き込む	18
セキュリティ保護付きデータ ディスクを書き込む	19
ミュージック ディスク	24
オーディオ CD または MP3/WMA ミュージック ディスクを書き込む	25
ビデオ ディスク	27
ビデオ ディスクを書き込む	27

ビデオディスクを作成する	29
ディスクメニューを選択/編集する	29
ディスクの環境設定を編集する	33
ディスクに動画を書き込む	34
DVD フォルダーの書き込みを行う.....	35
フォト ギャラリー ディスク.....	36
フォト ギャラリー ディスクを作成、書き込む.....	36
フォト ギャラリー ディスクを表示する.....	40
システム リカバリー.....	41
システム リカバリー ディスクの書き込みを行う.....	41
コンピューターを復元する	43
ディスク コピー.....	44
ディスクをコピーする.....	44
ディスク イメージを保存する.....	45
ディスク イメージを書き込む.....	46
ディスク ユーティリティー.....	48
ディスクを消去する.....	48
音声を取り込む.....	48
音声ファイルを変換する.....	49
ミックス ディスクを書き込む.....	50
CD Extra/ミックス モード CD を書き込む	50
Power2Go 仮想ドライブ.....	53
ディスク イメージをマウントする	53
マウントしたディスク イメージを無効にする	54
その他の書き込み注意、機能.....	55
CyberLink ISO ビューアーを使用する.....	55

マルチセッション ディスク.....	56
Power2Go の設定.....	57
情報タブを表示する.....	57
データの設定を行う.....	57
オーディオ CD の設定を行う.....	58
MP3 ディスクの設定を行う.....	58
WMA 音質の設定を行う.....	59
ライブラリーの設定を行う.....	59
動画の設定を行う.....	59
共通の設定を行う.....	60
書き込みドライブの設定を行う.....	60
テクニカル サポート.....	62
テクニカル サポートにお問い合わせになる前に.....	62
Web サポート.....	63

第 1 章:

紹介

この章では、CyberLink Power2Go の概要と最新機能について説明します。Power2Go のバージョン、対応するメディアのタイプおよび推奨するシステム要件についても紹介します。

注:当ガイドは参考資料です。また、内容および対応するプログラムは予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

はじめに

CyberLink の製品をご利用いただきありがとうございます。

CyberLink Power2Go は、すべてのドライブおよびディスク (CD、DVD、ブルーレイ ディスクなど) に対応するオールメディアライティングソフトです。

CyberLink Power2Go を使うと、データディスク、ミュージックディスク、フォトギャラリー ディスク、ビデオディスク、システムリカバリーディスクなどの作成、書き込みができます。ディスクユーティリティーを使ってディスクを消去、コピーしたり、仮想ドライブとしてディスクイメージをマウントすることもできます。CyberLink Power2Go は、PC 向けのオールインワンライティングソフトです。

最新機能

CyberLink Power2Go の最新バージョンには、さらに便利な書き込み機能が搭載されています。ここでは、CyberLink Power2Go プログラムの最新機能について説明します。

仮想ドライブ

- ディスクイメージ ファイルをマウントして、実際のディスクドライブと同様にアクセス。

システムリカバリーディスクの作成*

- コンピューターおよびディスクの Windows システム ファイルをバックアップ。

システム リカバリー*

- システム リカバリー ディスクのシステム イメージからコンピューターを復元。

拡張ディスク イメージ形式サポート

- RDF ディスク イメージ形式に対応。

拡張コーデック サポート*

- H.264 および AAC のインポート動画に対応。

WaveEditor 2*

- 最新の音声編集プログラム (マルチトラック ミキシング、CD 作成) を搭載。

注:* CyberLink Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、バージョン テーブルを参照してください。

Power2Go バージョン

CyberLink Power2Go で利用可能な機能は、お使いのバージョンによって異なります。

CyberLink Power2Go のバージョンを確認するには、キーボードの Ctrl+B を押すか、**[ヘルプ] > [Power2Go バージョン情報]** を選択します。


機能	Platinum	Deluxe	DE (OEM)	LE (OEM)	Corp (サイトライセンス)
データディスク	CD/DVD/ BD	CD/DVD/ BD	CD/DVD/ BD	CD/DVD/ BD	CD/DVD/ BD
仮想ドライブ	あり	あり	あり	あり	あり
リカバリーディスクの作成	あり	--	--	--	--
ビデオディスクの	CD/DVD	CD/DVD	--	--	--

作成					
H.264/ AAC のイ ンポート	あり	あり	--	--	--
Dolby コー デック	あり	--	--	--	--
ミュージッ クディス ク/ミック スディス ク	あり	あり	あり	あり	あり
WaveEdito r	あり	あり	--	--	--
ディスクの 暗号化	あり	あり	あり	あり	あり
フォト ギャラリー ディスク	あり	あり	あり	--	あり

Power2Go をアップデートする

CyberLink では、定期的にソフトウェアのアップグレードおよびアップデート (パッチ) を提供しています。アップグレードまたはアップデートが可能な場合は、自動的に確認ダイアログが表示されます。

ソフトウェアをアップデートするには、次の操作を行います。

1.  ボタンをクリックして、[アップグレード情報] ウィンドウを開きます。
2. CyberLink Power2Go のアップグレードするバージョンまたはアップデートするパッチをクリックします。

3. [アップグレード情報] のウィンドウが開きます。アップグレードを購入したり、最新パッチをダウンロードします。

対応メディア

CyberLink Power2Go が対応するメディアは次の通りです。対応する特定のメディアは、コンピューターにインストールされているバージョンによって異なります。

対応するファイル タイプ

データ ディスク (あらゆるファイル タイプが書き込み可能なもの) を除き、音楽、動画、画像ディスクの作成時にインポート可能なファイル形式は次の通りです。

- **音声形式:**MP3、M4A、WAV、WMA
- **動画形式:**ASF、AVI、DAT、DVR-MS、M2T、M2TS、MOV、MOD、MP4、MPE、MPEG、MPG、MTS、TS、TOD、VOB、VRO、WMV、WTV
- **画像形式:**BMP、GIF、JPE、JPEG、JPG、PNG、TIF、TIFF

対応するディスク タイプ

CyberLink Power2Go は次のディスク タイプの書き込みに対応しています。

- **CD:**CD-R/RW
- **DVD:**DVD-R/RW、DVD-R/RW DL、DVD+R/RW、DVD+R/RW DL、DVD-RAM
- **ブルーレイ ディスク:**BDXL、BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DL

システム 要件

書き込み時に推奨される最小システム要件は、以下の通りです。この推奨要件を満たしていても、書き込みタスクによっては容量を拡張する必要が生じる場合が

あります。

最小システム要件	
OS	<ul style="list-style-type: none">• Windows 10/8.1/8/7/Vista/XP
画面解像度	<ul style="list-style-type: none">• 1024 x 768 ピクセル以上
メモリー	<ul style="list-style-type: none">• 音楽およびデータの書き込み: 128 MB SDRAM• 動画の書き込み: 256 MB DDR RAM (512MB 推奨)
CPU	<ul style="list-style-type: none">• VCD (MPEG-1) 作成: Intel Pentium II 450 MHz• DVD (MPEG-2) 作成: Intel Pentium III 800 MHz または AMD Athlon 700 MHz (Intel Pentium 4 2.0 GHz または AMD Athlon 2100+ 以上推奨)
HDD 容量	<ul style="list-style-type: none">• VCD ビデオ作成: 1 GB• DVD ビデオ作成: 5-10 GB• ブルーレイ ディスク作成: 25 GB

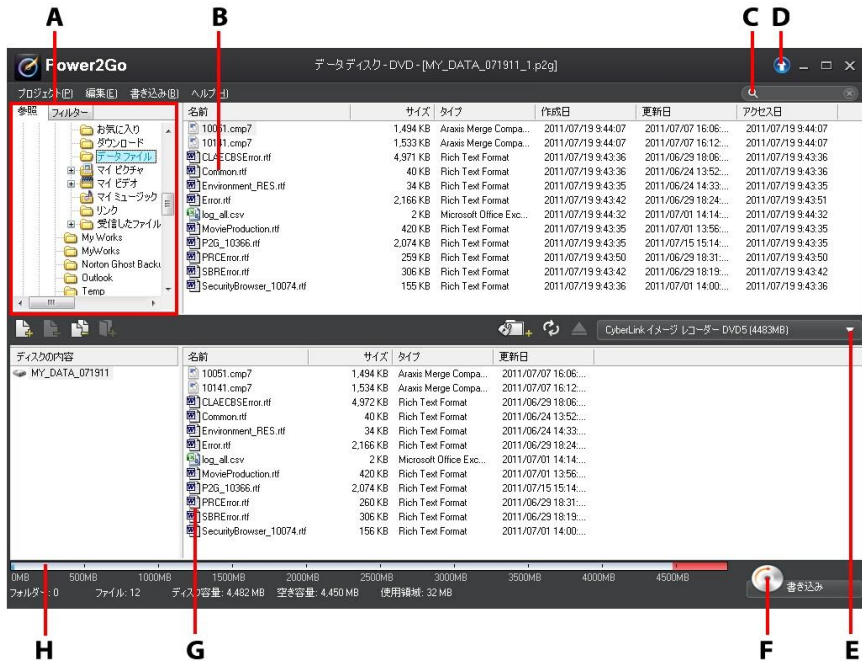
注:システム要件は変更する場合があります。最新のシステム要件は、CyberLink (<http://jp.cyberlink.com/>) Power2Go のページでご確認ください。

第 2 章:

Power2Go の作業領域

この章では、CyberLink Power2Go の作業領域および各モードについて説明します。CyberLink Power2Go には複数の異なるウィンドウがあります。ただし、これらのウィンドウには共通する機能もあります。

Power2Go のフル プログラム モードで新規の書き込みタスクを行う場合 (ビデオディスクの作成またはディスクユーティリティの使用時を除く)、プログラムは次のように表示されます。



A - 検索ペイン、**B** - メディア ペイン (コンピューター内のメディア)、**C** - メディアの検索、**D** - アップグレード、**E** - 書き込みドライブの選択、**F** - 書き込み

ボタン、**G** - ディスク コンテンツ エリア (書き込まれるメディア)、**H** - ディスク
容量インジケータ

CyberLink Power2Go のモード

CyberLink Power2Go には次のモードがあります。

- [Power2Go デスクトップ書き込みガジェット モード](#)
- [Power2Go フルプログラム モード](#)


Power2Go デスクトップ書き込みガジェット モードは、2 ステップでディスクに書き込みが行える、より簡単なモードです。Power2Go フルプログラム モードは、すべての書き込み機能およびディスク ユーティリティにアクセス可能なモードです。

Power2Go

デスクトップ書き込みガジェット モード

Power2Go デスクトップ書き込みガジェットを使うと、ディスクに簡単に書き込むことができます。デスクトップ書き込みガジェットはデスクトップに常駐しており (有効にしている場合)、いつでもガジェットにファイルをドラッグ&ドロップすることができます。書き込むメディアが準備できたら、簡単に書き込みを行うことができます。


デスクトップ書き込みガジェットは、Windows のすべてのバージョンで利用可能で、次のアイコンが表示されます。

ガジェット アイコン	Power2Go 機能
	<p>[データ ディスク] ガジェット。このアイコンにデータ ファイルをドラッグ&ドロップして、ディスクに書き込みます。</p>

 <p>オーディオ CD</p> <p>0:0/74:0 MIN CyberLink</p>	<p>[オーディオ CD] ギャジェット。このアイコンに音楽ファイルをドラッグ&ドロップして、オーディオ CD をディスクに書き込みます。CD プレーヤーで再生することができます。</p>
 <p>ビデオディスク</p> <p>CyberLink</p>	<p>[ビデオ ディスク]* ギャジェット。このアイコンに動画ファイルをドラッグ&ドロップして、ディスクに書き込みます。</p>
 <p>ディスク コピー</p> <p>CyberLink</p>	<p>[ディスク コピー] ギャジェット。ギャジェットの  をクリックして、ディスクのコンテンツを他のディスクにコピーします。ディスク コピーに関する詳細は、「ディスクコピー」 を参照してください。</p>

注:* CyberLink Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、バージョン テーブルを参照してください。


デスクトップ書き込みギャジェットを有効にする

CyberLink Power2Go をインストールすると、デスクトップ書き込みギャジェットは自動的に有効になります。有効になっている場合、 のアイコンが Windows の通知領域 (システム トレイ) に表示されます。アイコンをダブルクリックしてギャジェットを表示するか、右クリックして他のオプションを表示します。

Power2Go デスクトップ書き込みガジェットが無効になっている場合は、Windows のスタートメニューから **[CyberLink Power2Go] > [デスクトップ書き込みガジェット]** オプションを選択します。




デスクトップ書き込みガジェットで書き込みを行う

デスクトップ書き込みガジェットでディスクの書き込みを行うには、次の操作を行います。


1. 読み取り元のファイルをコンピューターから検索します。
2. ディスクに書き込むすべてのファイルをデスクトップ書き込みガジェットのアイコン (音楽ファイルは [オーディオ CD] ガジェット、動画ファイルは [ビデオ ディスク] ガジェットなど) にドラッグ&ドロップします。
3. Power2Go デスクトップ書き込みガジェットの  をクリックし、書き込み処理を開始します。

デスクトップ書き込みガジェット使用時のヒント

デスクトップ書き込みガジェットで書き込みを行う際のヒントは、次の通りです。

- デスクトップ書き込みガジェットの機能を切り替えるには、アイコン上の矢印  **データディスク**  をクリックします。
- デスクトップ書き込みガジェット左下の  アイコンをクリックすると、ウィンドウが開き、書き込むコンテンツのリストが表示されます。
- デスクトップ書き込みガジェットで書き込みを行うミュージック ディスクは、オーディオ CD 形式になります。
- 動画ファイルを [オーディオ CD] のアイコンにドラッグ&ドロップすると、動画ファイル内の音声抽出されます。

デスクトップ書き込みガジェットを設定する

Windows の通知領域 (システム トレイ) の  アイコンを右クリックすると、デスクトップ書き込みガジェットの設定オプションが表示されます。

オプションは次の通りです。

- **常に手前に表示:** デスクトップ書き込みガジェットを他の実行中のプログラムの前面に表示します。
- **システム起動時にプログラムを起動:** コンピューターの起動時に自動的にデスクトップ書き込みガジェットを起動します。
- **CyberLink 仮想ドライブ:** イメージ ファイルなどをマウント可能な仮想ドライブ ウィンドウを起動します。詳細は、[「Power2Go 仮想ドライブ」](#) を参照してください。
- **ディスクの消去:** ディスク ドライブ内の再書き込み可能ディスクを消去します。
- **バージョン情報:** Power2Go のバージョン情報を表示します。
- **ヘルプ:** ヘルプ ファイルを表示します。
- **終了:** デスクトップ書き込みガジェットを終了します。

Power2Go フル プログラム モード

Power2Go フル プログラム モードは、すべての機能にアクセス可能な CyberLink Power2Go のメイン モードです。

新規タスク ウィンドウ



CyberLink Power2Go を起動すると、新規タスクのウィンドウが自動的に表示されます。このウィンドウからすべての機能にアクセスできます。



書き込みを開始するには、上部のタスク アイコンを選択し、実行する書き込みタスクを選択します。

Power2Go タスク

新規タスクのウィンドウからアクセス可能な機能は、次の通りです。

タスク アイコン	Power2Go 機能
	<p>[データ ディスク] では、データ ファイルを CD、DVD、ブルーレイ ディスクに書き込むことができます。データ ファイルには、各種ドキュメントまたはデジタル ファイルを含めることができます。詳細は、「データディスク」を参照してください。</p>
	<p>[ミュージック ディスク] では、MP3*、WMA、WAV の音声ファイルを CD または DVD に書き込むことができます。動画ファイル内の音声を抽出したり、一般のオーディオ CD を作成することもできます。詳細は、「ミュージックディスク」を参照してください。</p>

	<p>[ビデオ ディスク]* では、動画ファイルを含む CD*/DVD を作成することができます。DVD フォルダーをディスクに書き込むこともできます。詳細は、「ビデオディスク」を参照してください。</p>
	<p>[フォト ギャラリー ディスク]* では、CD、DVD、ブルーレイディスクにフォト ギャラリー ディスクを作成することができます。これらのディスクには、コンピューターで実行可能なフォト ショーケース アプリケーション (ビューアー付き) が含まれます。詳細は、「フォト ギャラリー ディスク」を参照してください。</p>
	<p>[システム リカバリー]* では、コンピューターがクラッシュした場合や動作を停止した場合の復元用にリカバリーディスクを作成することができます。詳細は、「システム リカバリー」を参照してください。</p>
	<p>[ディスク コピー] では、ディスクのコピーを行うことができます (コンピューターに 2 つ以上のディスク ドライブがある場合)。ディスク イメージの作成または書き込みを行うこともできます。詳細は、「ディスク コピー」を参照してください。</p>
	<p>[ディスク ユーティリティー] では、ディスクの消去、音声の取り込み、オーディオ コンバーターなどの便利な機能にアクセスすることができます。仮想ドライブにアクセスしたり、ミックス モード CD や CD Extra を作成することもできます。詳細は、「ディスク ユーティリティー」を参照してください。</p>

注:* CyberLink Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、バージョン テーブルを参照してください。

検索ペインを使用する

CyberLink Power2Go のメイン ウィンドウのほとんども、検索ペインがあります。検索ペインは、ディスクに書き込むメディアが素早く見つかる便利なツールです。検索ペインには、**[参照]**、**[フィルター]**、**[メディア]** タブのいずれかが表示されます。

注:メディア検索欄にキーワードを入力して、コンピューター内の特定のフォルダーを検索することもできます。

参照タブ

[参照] タブでは、コンピューター内のドライブおよびフォルダーを検索することができます。このタブは Windows エクスプローラーに似ています。フォルダーを選択すると、選択したディスク タイプに対応する形式のファイルがメディアペインに表示されます。

フィルター タブ

[フィルター] タブは、データ ディスクを書き込む際に利用できます。このタブでは、ディスクに含めるデータ ファイルの種類をフィルターすることができます。

[すべてのファイル] を選択して、フォルダー内のすべてのファイルを表示します。または、**[カスタム ファイル]** を選択して、検索リストからファイル タイプを選択します。**[編集]** をクリックして、フィルターするファイル拡張子のリストをカスタマイズします。**[編集]** ボタンを選択して、フィルター リストからファイル拡張子を追加/削除することもできます。

メディア タブ

[メディア] タブでは、ミュージック ディスクを作成中に、音楽ファイルを素早く検索することができます。CyberLink メディア ライブラリー サービスにより、音楽は **[アーティスト]**、**[アルバム]**、**[ジャンル]**、**[年]**、**[最近追加]** に分けて表示されます。

注:CyberLink メディア ライブラリー内のフォルダーは、**[設定]** から設定することができます。詳細は、[「ライブラリーの設定を行う」](#) を参照してください。

Power2Go のプロジェクト

CyberLink Power2Go のメインウィンドウでディスクを作成すると、書き込みプロジェクトは P2G 形式で保存され、後でプロジェクトを編集したり書き込みを行うことができます。

プロジェクトを保存するには、**メニューの [プロジェクト] > [保存]** または **[名前を付けて保存]** を選択します。以前作成したプロジェクトを開くには、メニューの **[プロジェクト] > [開く]** を選択します。

Power2Go ユーザー設定

処理方法に合わせて、様々な環境設定を構成することができます。プログラムの環境設定を表示するには、メニューの **[プロジェクト] > [環境設定]** を選択します。

全般の環境設定

[全般] タブでは、全般的な設定を行います。

- **一時ディレクトリー**:書き込み中に一時ファイルを保存する作業ディレクトリーを指定します。
- **「次回からこのダイアログを表示しない」をすべてリセットする**:ディスク作成中に「次回からこのダイアログを表示しない」を選択しても、リセットを行うことができます。**[リセット]** をクリックすると、次回からダイアログが表示されるようになります。

容量の環境設定

[容量] タブでは、コンテンツを CD に書き込む際、ディスクの容量が 700MB を越える場合、カスタムのディスク サイズを設定することができます。次の設定を行います。

- **自動検出**:自動的にディスクの容量を検出します。
- **CD-R/RW 容量のカスタマイズ**:このオプションを選択して、ディスクの容量 (分) を入力します。

データベースの環境設定

[データベース] タブでは、インターネット接続の設定を行います。

- **インターネットからアルバム/ディスクの情報を自動的に取得する:**このオプションを選択すると、音声ファイルを取り込む際に、曲およびアルバムの情報が自動的に取得されます。

言語の環境設定

[言語] タブでは、ユーザー インターフェイスの言語設定を行います。

- **システムのデフォルト言語を使用する:**このオプションを選択すると、オペレーティング システムのデフォルト言語で表示されます。
- **ユーザー定義:**このオプションを選択して、ドロップダウン リストから希望の言語を選択します。

第 3 章:

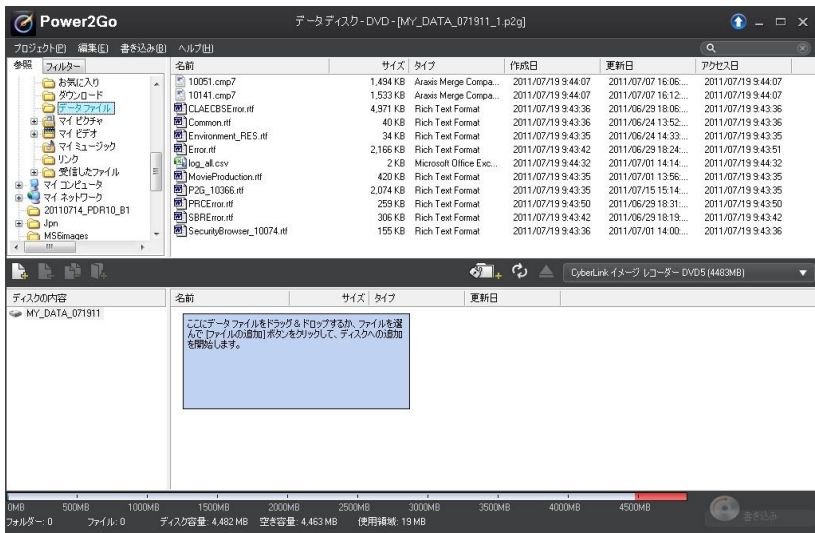
データ ディスク

[データ ディスク] では、データ ファイルを CD、DVD、ブルーレイ ディスクに書き込むことができます。データ ファイルには、ほとんどのドキュメントまたはデジタル ファイル種類を含めることができます。重要なコンテンツをディスクに書き込む場合、セキュリティ保護付きデータ ディスクを作成することもできます。



データ ディスクを作成、書き込む

データ ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [データ ディスク] オプションをクリックし、作成するディスクのタイプ ([CD]、[DVD]、[ブルーレイ ディスク]) を選択します。[データ ディスク] ウィンドウが開きます。



2. 検索ペイン (詳細は、[「検索ペインを使用する」](#) を参照) を使って、ディスクに含めるファイルを検索します。書き込むファイルまたはフォルダーを選択して、ディスク コンテンツ エリアにドラッグ&ドロップします。

注:  ボタンをクリックしてデータ ファイルを追加したり、 ボタンをクリックしてディスクにフォルダーを作成することもできます。

3. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、**[書き込み]** ボタンをクリックします。
4. 必要に応じて、**[データ]**、**[共通]**、**[書き込みドライブ]** タブの設定を調整します (詳細は、[「Power2Goの設定」](#) を参照)。
5. ディスクへの書き込みの準備ができれば、**[書き込み]** をクリックします。

注:書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、**[書き込み後、自動的にシャットダウンする]** オプションを選択します。

6. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。
 - **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されません。
 - **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。


セキュリティー保護付きデータ ディスクを書き込む

セキュリティー保護付きデータ ディスクのオプションでは、パスワード保護付きのデータ ファイルを CD、DVD、ブルーレイ ディスクに書き込むことができます。

ファイル名を暗号化して、セキュリティー保護付きのデータ ディスクを作成することもできます。暗号化されたファイル名は、正しいパスワードを入力しない限り非表示になります。セキュリティー保護するファイルは、データ ディスクのすべてのファイルまたは一部のファイルから選択できます。

セキュリティー保護付きデータ ディスクを書き込む

セキュリティー保護付きのデータ ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの **[データ ディスク]** オプションをクリックし、作成するディスクのタイプ (**[CD]**、**[DVD]**、**[ブルーレイ ディスク]**) を選択します。**[データ ディスク]** ウィンドウが開きます。
2.  ボタンをクリックします。
3. セキュリティーレベルの選択:**[セキュリティー保護 (128 ビット)]** または **[高度なセキュリティー保護 (256 ビット)]** から選択します。
4. セキュリティー保護付きデータ ディスクの **[パスワード]** を入力します。**[パスワードの確認]** でもう一度パスワードを入力します。パスワードを忘れた場合用に、**[パスワード リマインダー]** を入力します。
5. ディスク内のファイル名を暗号化する場合は **[ディスクのファイル名を非表示にする]** を選択します。
6. **[OK]** をクリックします。ディスク コンテンツ エリアは 2 つのセクションに分割されます。



7. 検索ペイン (詳細は、[「検索ペインを使用する」](#) を参照) を使って、ディスクに含めるファイルを検索します。書き込むファイルまたはフォルダーを選択して、セキュリティ保護データ エリア (ピンク表示) または非セキュリティ保護データ エリア (ブルー表示) にドラッグ&ドロップします。

注: ボタンをクリックして、データ ファイルを追加したり、 ボタンをクリックして、選択したディスク エリアにフォルダーを作成することもできます。

8. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、**[書き込み]** ボタンをクリックします。
9. 必要に応じて、**[データ]**、**[共通]**、**[書き込みドライブ]** タブの設定を調整します (詳細は、[「Power2Go の設定」](#) を参照)。
10. ディスクへの書き込みの準備ができたなら、**[書き込み]** をクリックします。

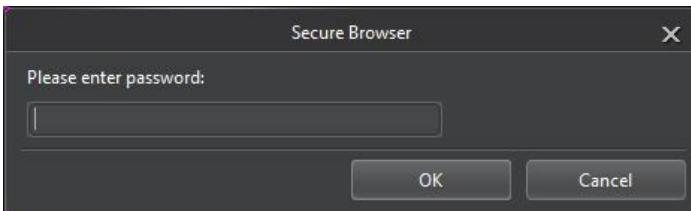
注:書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、**[書き込み後、自動的にシャットダウンする]** オプションを選択します。

11. 書き込みが完了したら、ウィンドウ ボックスに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。
 - **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されません。
 - **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。

セキュリティー保護付きデータ ディスクのコンテンツを表示する

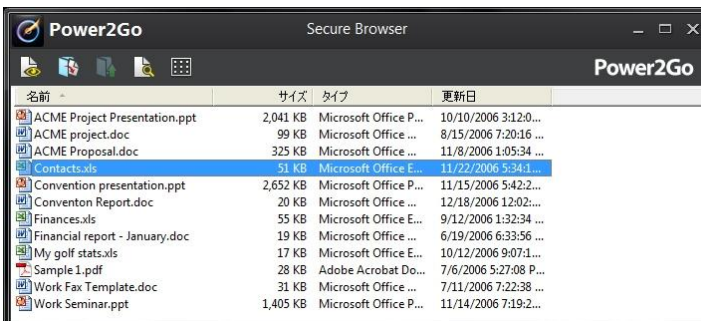
セキュリティー保護付きディスクにデータを書き込むと、CyberLink セキュリティー ブラウザーでディスクのコンテンツを表示することができます。

1. セキュリティー付きデータ ディスクをディスク ドライブに挿入すると、パスワード入力画面が表示されます。





注:セキュリティー保護付きデータ ディスクを挿入しても、CyberLink セキュリティー ブラウザーが自動的に起動しない場合は、Windows エクスプローラーでディスクを検索し、ドライブ内のディスクをダブルクリックして、手動で起動してください。


2. パスワードを入力して **[OK]** をクリックすると、CyberLink セキュリティー ブラウザーが表示されます。





注:ディスクの作成時に **[ディスクのファイル名を非表示にする]** を選択した場合、リスト表示内のセキュリティー保護フォルダーをダブルクリックして、ファイルを表示します。

3. CyberLink セキュリティー ブラウザーで実行可能な機能は、次の通りです。

-  をクリックして、ファイルをデフォルトのプログラムで表示します。
- ディスクからファイルを抽出してコンピューターに保存するには、ファイルを選択して  をクリックします。

注:セキュリティー保護付きデータ ディスクに複数のサブフォルダーが含まれる場合、 をクリックして前のフォルダーに移動します。

- ファイルを検索するには、 をクリックします。ファイル名またはフォルダー名の一部またはすべてを入力します。検索中に、**[サイズ]** をクリックして指定するサイズのファイルを表示するか、**[更新日]** をクリックして指定する日に作成または変更されたファイルを表示することもできます。

注:CyberLink セキュリティー ブラウザー内のアイテムの表示を変更するには、 をクリックします。

第 4 章:

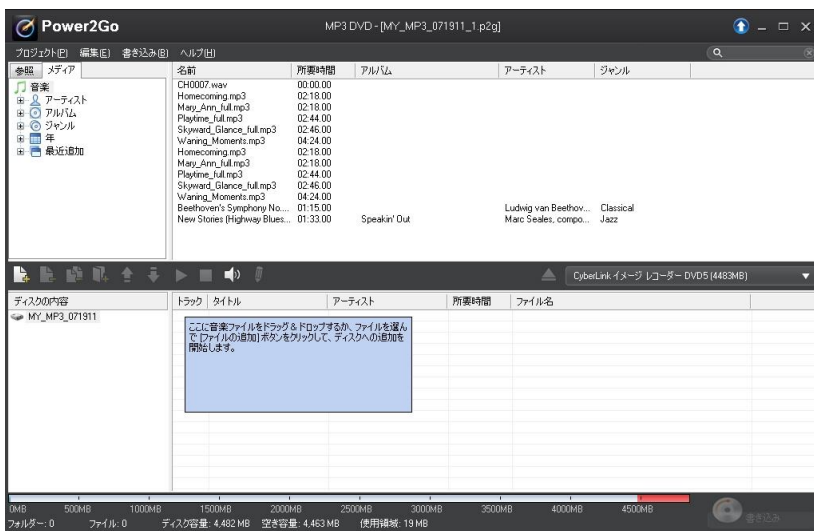
ミュージック ディスク

[ミュージック ディスク] オプションでは、音楽ファイルから MP3 または WMA CD/DVD を作成することができます。一般の CD プレーヤーで再生可能なオーディオ CD を作成することもできます。


オーディオ CD または MP3/WMA ミュージック ディスクを書き込む


オーディオ ミュージック CD または MP3/WMA ミュージック ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [ミュージック ディスク] オプションをクリックし、作成するミュージック ディスクのタイプ ([オーディオ CD]、[WMA CD]、[MP3 CD]、[WMA DVD]、[MP3 DVD]) を選択します。[ミュージック ディスク] ウィンドウが開きます。



2. 検索ペイン (詳細は、[「検索ペインを使用する」](#)を参照) を使って、ディスクに含める音楽を検索します。書き込むファイルまたはフォルダーを選択して、ディスク コンテンツ エリアにドラッグ&ドロップします。

注:  ボタンをクリックして音楽ファイルを追加したり、他のボタンをクリックしてディスク中の音楽の順番を変更したり、プレビューすることもできます。ビデオ クリップから音声を抽出してミュージック ディスクに入れるには、ビデオ クリップをディスクに追加します。

3. 音楽ファイルを編集したりエフェクトを追加するには、 ボタンをクリックして、CyberLink WaveEditor* を起動します。音声の編集に関する詳細は、CyberLink WaveEditor のヘルプ ファイルを参照してください。音声ファイルの編集が完了したら、更新されたファイルはディスク コンテンツ エリアに再び配置されます。
4. ディスクに含めるコンテンツをすべて追加したら、**[書き込み]** ボタンをクリックします。

5. 必要に応じて、音楽 ([オーディオ CD]、[MP3 ディスク]、[WMA 音質])、[共通]、[書き込みドライブ] タブの設定を調整します (詳細は、[「Power2Go の設定」](#) を参照)。

6. ディスクへの書き込みの準備ができたなら、**[書き込み]** をクリックします。

注:書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、**[書き込み後、自動的にシャットダウンする]** オプションを選択します。

7. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。

- **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されません。
- **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。

注:* CyberLink Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、バージョン テーブルを参照してください。

第 5 章:

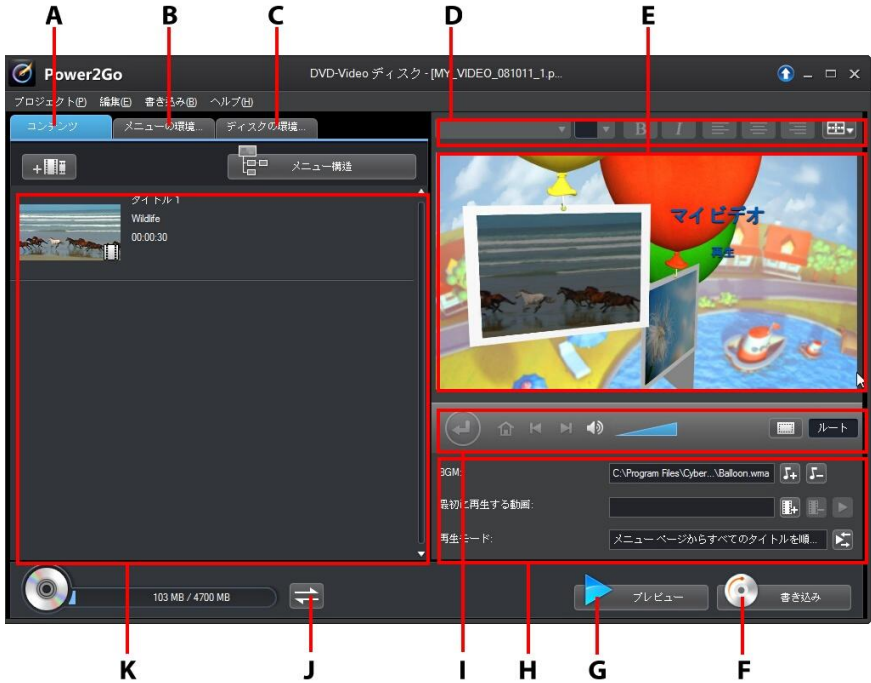
ビデオ ディスク

[**ビデオ ディスク**]* オプションでは、動画ファイルを CD または DVD にメニューを付けて書き込むことができます。DVD フォルダーをディスクに書き込むこともできます。

注:* CyberLink Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、バージョン テーブルを参照してください。

ビデオ ディスクを書き込む

新規タスクのウィンドウで [**ビデオ CD (VCD) ディスク**]* または [**DVD-Video ディスク**]* オプションを選択した場合、作成ディスク ウィンドウは次のように表示されます。






A - ディスク コンテンツ タブ、**B** - メニュー環境設定タブ、**C** - ディスク環境設定タブ、**D** - ディスク メニュー フォントプロパティ、**E** - ディスク メニュー プレビュー ウィンドウ、**F** - ディスクに書き込み、**G** - ディスク メニュー プレビュー、**H** - ディスク メニュー プロパティ、**I** - メニュー ナビゲーション コントロール、**J** - 容量表示切替、**K** - ディスク コンテンツ

注:* CyberLink Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、バージョン テーブルを参照してください。

ビデオ ディスクの作成および書き込み手順は、必要条件によって異なります。
[ディスク作成] ウィンドウで実行可能な機能は、次の通りです。

ビデオ ディスクを作成する

ビデオ ディスクを作成するには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの **[ビデオ ディスク]** オプションをクリックします。**[ビデオ CD (VCD) ディスク]** または **[DVD-Video ディスク]** オプションのいずれかを選択して、**[ディスク作成]** ウィンドウを開きます。
2.  ボタンをクリックして、ディスクに含める動画ファイルを検索、選択します。
3. 必要に応じて、 をクリックしてインポートした動画をプレビューします。
4. 必要に応じて、 をクリックして他の動画ファイルをインポートします。インポートしたそれぞれの動画は、完成ディスク上では、異なるタイトルまたはシーンになります。
5. ディスクの作成処理を完了します。詳細は、[「ディスクメニューを選択/編集する」](#)を参照してください。

ディスク メニューを選択/編集する

ディスクに含めるコンテンツをすべて追加したら、**[メニューの環境設定]** タブをクリックして、既存のディスク メニューを編集したり、他のディスク メニュー テンプレートを選択したりします。

CyberLink Power2Go に搭載されるディスク メニュー テンプレートはマルチレイヤー構造で、次のページから構成されます。


- メイン メニュー ホーム (ルート) ページ。
- ディスクに個別のタイトル (動画) が付けられるシーン ページ。

ディスク メニュー テンプレートをを選択する

CyberLink Power2Go には複数のテンプレートが実装されています。テンプレートには、モーションやメニュー音楽が予め設定されているものもあります。


注:完成ディスクにメニューを含めない場合は、**【メニューの環境設定】**の**【メニューなし】**のテンプレートを選択します。

メニュー テンプレートを選択してプレビューします。ハイライトしたメニュー ページのスタイルを、指定するメニュー ページに適用するには**【適用】**を選択します。すべてのページ (ホーム ページおよびシーン ページ) に同じスタイルを適用する場合は、**【すべてのページに適用】**を選択します。

注: をクリックして、DirectorZone から他のディスク メニュー テンプレートをインポートすることもできます。

ディスク メニューのプロパティを編集する

ディスク メニューのプロパティの一部を編集することができます。メニュー ナビゲーション コントロールを使って、現在のディスク メニューのデザインおよび動作をプレビューします。

ディスク中のシーンを表示するには、 ボタンおよび他のメニュー ナビゲーション コントロールを使って、ディスク メニューをナビゲートします。または、ウィンドウ下の**【プレビュー】** ボタンをクリックして、書き込み後の状態をプレビューします。



ディスク メニューのテキストを編集する

メニュー ページに表示されるテキスト (ボタン テキスト リnkも含む) を編集するには、そのテキストをダブルクリックします。ディスク メニュー ウィンドウ上のディスク メニュー フォント プロパティのオプションを使って、メニュー テキスト スタイル、サイズ、配列を変更します。


メニュー テキストの位置を変更するには、テキストをクリックして希望する位置にドラッグします。

ディスク メニューの BGM を設定する


メニュー テンプレートには音楽を含むテンプレートもあります。ディスク メニューのプロパティーでは、次の操作を行うことができます。

-  をクリックして、メニューの BGM を変更、置き換えます。
-  をクリックして、メニューから現在の BGM を削除します。

ディスク メニューの音楽を追加/編集する

ディスク メニューに BGM を追加するには、 ボタンをクリックして次の操作を行います。




注:ディスク メニューの BGM の長さは、[再生モードの設定] ウィンドウの **[所要時間]** に入力された時間によって異なります (使用する音楽ファイルの長さは適用されません)。メニューの所要時間の設定に関する詳細は、[「ディスク再生モードを設定する」](#) を参照してください。

-  ボタンをクリックして、メニューの BGM を追加または置き換えます。
- 再生コントロールで音声ファイルをトリミングし、トリミング バーのスライダーを動かして開始位置および終了位置を設定します。
- メニューの BGM をフェードインする場合は **[フェードイン]** を、フェードアウトする場合は **[フェードアウト]** を選択します。
- メニュー音楽のファイルの所要時間が指定する所要時間と異なる場合、**[オートリピート]** オプションを選択すると、音楽は繰り返し再生されます。
- ディスク メニューのすべてのページにこの音楽を設定するには **[すべてのページに適用]** を、編集中のディスク メニューにのみ適用するには **[適用]** をクリックします。


最初に再生する動画を追加する

このオプションを使って、作成ディスクに最初に再生する動画を追加します。ディスクをディスク プレーヤーに挿入すると、ディスク メニューが表示される前に、この最初の動画が自動的に再生されます。この場合、再生中にナビゲーション ボタンは利用できません (スキップや早送りすることはできません)。市販ディスクでは通常、この部分は著作権情報や警告メッセージが表示されます。個人的な作品の場合には、他のビデオ クリップを利用することができます。

最初の再生クリップを設定するには、次の操作を行います。

-  をクリックして、使用する動画を選択します。
-  をクリックして、指定された動画を削除します。
-  をクリックして、最初に再生する動画をプレビューします。

ディスク再生モードを設定する

 ボタンをクリックして、ディスクの再生方法を設定します。リストから使用する再生モードを 1 つ選択します。

[再生モードの設定] ウィンドウは、次のように設定します。

- 説明に基づいて、使用する再生モードを 1 つ選択します。ディスクをディスク プレーヤーに挿入した場合、または [再生] を押した場合に、選択したモードで再生されます。
- ディスクのコンテンツを自動的に再生する場合は、**[自動メニュー タイムアウト]** を選択します。このオプションを選択すると、指定する時間ディスクメニューを表示し、その後ディスク コンテンツを自動的に再生します。このオプションを選択しない場合、ディスク プレーヤーの [再生] ボタンを押すまで繰り返しメニューが表示されます。
- **[所要時間]** の欄に、ディスク メニューの長さ (秒) を入力します。ディスクメニューの所要時間は、10 秒から 99 秒まで設定することができます。

注:メニューの BGM もこの所要時間になります (選択した音楽ファイルの所要時間が設定した所要時間よりも長い場合でも)。

各ページのボタン数を設定する

複数のタイトル/シーンを含むディスクを作成する場合、シーン メニュー ページに表示するサムネイル ボタンの数を選択します。**[メニューの環境設定]** タブの**[各ページ ボタン数]** のドロップダウンから、表示する数を選択します。

注:各メニュー ページに表示可能なサムネイル ボタンの数は、メニュー テンプレートのデザインによって異なります。

[サムネイル インデックスの追加] を選択して、サムネイルの番号をメニュー ページに追加します。

ディスクの環境設定を編集する

ディスクに書き込む前に、**[ディスクの環境設定]** タブをクリックして、ディスクの環境設定 (動画ファイル形式、音声形式など) を設定します。

[ディスクの環境設定] タブで、次のオプションを設定します。

ディスク形式

- ディスクの形式は、新規タスク ページ (**[ビデオ CD (VCD) ディスク]** / **[DVD-Video ディスク]**) で選択したオプションの内容によって決まります。選択したディスク形式に合わせて、ディスク容量のドロップダウン オプションが表示されます。

動画/音声の設定

- **動画録画形式の選択:**ディスクの動画録画形式および縦横比を選択します。
- **動画エンコード形式および画質の選択:**ディスクの動画エンコード形式および画質を選択します。**[スマート フィット]** オプションは、使用するディスクの容量に合わせて、ビットレートを最高画質に自動調整します。
- **音声エンコード形式およびチャンネルの選択:**ディスクの音声形式および出力チャンネル数を選択します。

注:表示される動画/音声形式オプションは、選択したディスク形式により異なります。


- **テレビ信号方式:** 動画用のテレビ信号方式 (NTSC または PAL) を選択します。この方式は、動画を再生する地域の形式と一致させる必要があります。

ディスクに動画を書き込む


ディスク作成プロセスの最後に、ディスクを書き込みます。ディスクの書き込みが完了すると、ディスク プレーヤーで再生できるようになります。**[書き込み]** ボタンをクリックしたら、**[書き込み開始]** ボタンをクリックして、書き込み処理を開始します。

注:書き込み処理には数分かかります。処理時間は、動画の長さおよび画質、コンピューターの処理能力によって異なります。ビデオ ディスクのレンドリングが完了するまで、しばらくお待ちください。

書き込み設定を行う

初めてディスクに書き込む場合、 をクリックして書き込みの設定を行います。これらの設定は、書き込みの際に毎回使用されますが、設定の変更は可能です。

ディスクの消去

再書き込み可能ディスクは、コンテンツを消去し、書き換えることができます。これにより、新しいディスクを買わずに、同じディスクを繰り返し使うことができます。 ボタンをクリックすると、ディスクのコンテンツを消去します。

ディスクの消去時には、次を選択します。


- **[高速消去]** オプションを選択すると、ディスクに含まれるディスク インデックスのみが消去されます。
- **[完全消去]** オプションを選択すると、ディスクの内容がすべて消去されます。

DVD フォルダーの書き込みを行う

DVD フォルダーは、DVD のメディア コンテンツの格納用に作成されるディレクトリー フォルダーです。[DVD フォルダーの書き込み]* ユーティリティーで、DVD フォルダーを DVD ディスクに書き込みます。

注:* CyberLink Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、バージョン テーブルを参照してください。

DVD フォルダーの書き込みを行うには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの **[ビデオ ディスク]** オプションをクリックします。**[DVD フォルダーの書き込み]** オプションを選択して、[DVD フォルダーの書き込み] ウィンドウを開きます。
2.  をクリックして、ディスクに書き込む DVD フォルダーをコンピューターから選択します。
3. **[ディスク名]** を入力します。
4. ディスクを挿入して、ドロップダウン リストからドライブを選択します。
5. 必要に応じて、**[書き込み速度]** および **[コピー枚数]** を設定します。
6. **[書き込みテストを行う]** を選択すると、書き込み前に **書き込みテスト** が行われます。
7. **[書き込み]** をクリックして、書き込み処理を開始します。
8. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションを選択します。
 - **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されません。
 - **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。

第 6 章:

フォト ギャラリー ディスク

[フォト ギャラリー ディスク]* オプションでは、画像を使ってスライドショーを作成することができます。スライドショーは、スタンドアロンのフォト ショーケース アプリケーションとして CD、DVD、ブルーレイ ディスクに書き込まれます。フォト ギャラリーは、ビューアーがインストールされているコンピューターで実行することができます。ディスクに画像の説明や外部の URL を追記することもできます。

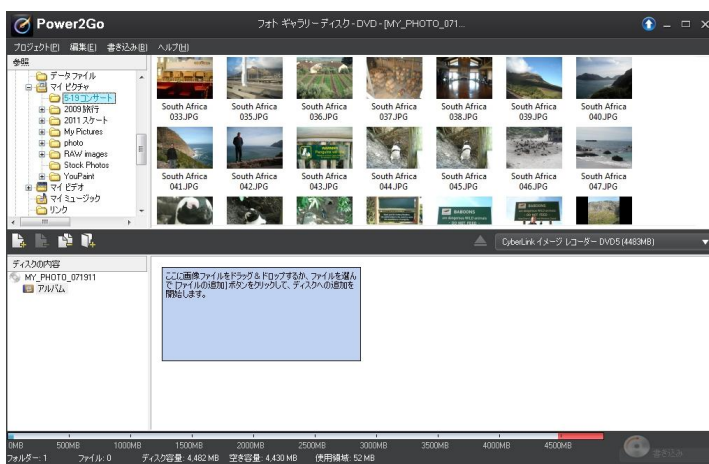
注:* CyberLink Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、バージョン テーブルを参照してください。

フォト ギャラリー ディスクを作成、書き込む


1 枚のフォト ギャラリー ディスクに 1 つ以上のアルバムを作成することができます。


フォト ギャラリー ディスクを作成、書き込むには、次の操作を行います。


1. 新規タスク ウィンドウの **[フォト ギャラリー ディスク]** オプションをクリックし、作成するディスクのタイプ (**[CD]**、**[DVD]**、**[ブルーレイ ディスク]**) を選択します。**[フォト ギャラリー ディスク]** ウィンドウが開きます。



2. [ディスクの内容] ペインで、必要に応じてディスクに表示されるフォトアルバムの名前を入力します。
3. 検索ペイン (詳細は、[「検索ペインを使用する」](#) を参照) を使って、ディスクに含める画像を検索します。読み取り元の画像を選択して、ディスクコンテンツ エリアにドラッグ&ドロップします (⊞ ボタンをクリックすると、サムネイル表示になり、画像が検索しやすくなります)。

注:  ボタンをクリックして、画像を追加することもできます。画像を追加する前に、[ディスクの内容] ペインで特定のアルバムを選択してください。

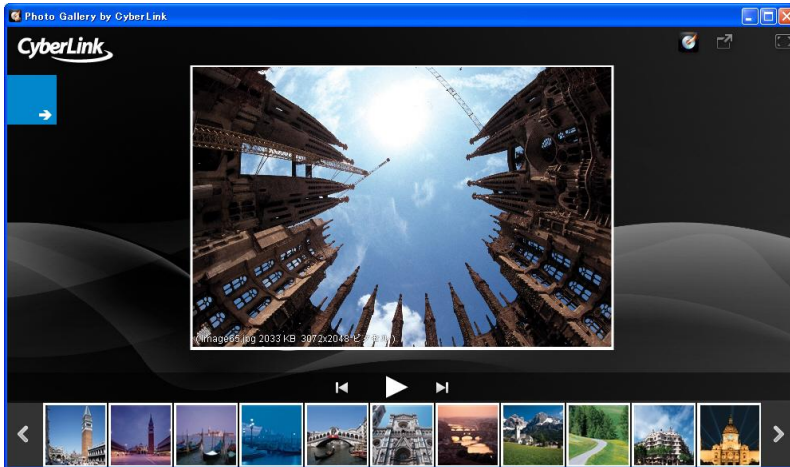
4. アルバムに他の画像を追加するには、前の 2 つの手順を繰り返します。  ボタンをクリックして、ディスクに新しいアルバムを作成することもできます。
5. ディスクに含める画像をすべて追加したら、**[書き込み]** ボタンをクリックします。

6. **[ギャラリー]** タブをクリックして、フォト ギャラリー ディスクを次のように設定します。
- **ギャラリー タイトル:** フォト ギャラリーのタイトルを入力します。タイトルは、書き込み後にディスク上に表示されます。
 - **カスタム ロゴ:[カスタム ロゴ]** ボタンをクリックして、フォト ギャラリーで使うロゴを次のようにカスタマイズします。
 - **フォト ギャラリーにロゴを追加しない:** 作成するフォト ギャラリーにロゴを追加しない場合に、このオプションを選択します。
 - **フォト ギャラリーにロゴを追加する:** 作成するフォト ギャラリーにロゴを追加する場合に、このオプションを選択します。  ボタンをクリックして、ロゴとして使用する画像を選択します (CyberLink のロゴと置き換えられます)。
 - **ロゴに URL リンクを追加する:** ロゴに URL リンクを追加する場合に、このオプションを選択します。選択したら、URL のアドレスを入力します (<http://>)。フォト ギャラリーのロゴをクリックすると、指定した URL に移動します。
 - **[OK]** をクリックして、変更内容を保存します。
 - **スライドショー速度:** スライドショーの各スライドの表示時間 (秒) を入力します。
 - **背景画像:[変更]** ボタンをクリックして、フォト ギャラリーの背景に使われる画像を設定します。デフォルトの画像にギャラリー ディスクに合ったものがない場合、**[参照]** ボタンをクリックして、自分のカスタム画像を使用します。
 - **EXIF 情報を表示する:** フォト ギャラリー ディスクに画像の詳細を表示するには、このオプションを選択します (EXIF 対応のデジタル カメラで撮影した場合)。

- **BGM を追加する:** フォト ギャラリー ディスクに BGM を追加するには、このオプションを選択し、**[参照]** をクリックして使用する音楽ファイルを選択します。
 - **エディターズ ノートを含める:** フォト ギャラリー ディスクにメモや説明を含めるには、このオプションを選択し、**[編集]** をクリックして、**[タイトル]** および **[コンテンツ]** を入力します。
 - **外部 URL を含める:** フォト ギャラリー ディスクに Web サイトのリンクを含めるには、このオプションを選択し、**[編集]** をクリックして、Web サイトの **[名前]** および URL (**http://**) を入力します。
 - フォト ギャラリーの完成内容を表示するには、**[プレビュー]** ボタンをクリックします。**[エクスポート]** をクリックすると、ハード ドライブにスタンドアロンのフォト ギャラリー アプリケーション (フォルダー) が作成されます。
7. 必要に応じて、**[共通]**、**[書き込みドライブ]** タブの設定を調整します (詳細は、[「Power2Go の設定」](#) を参照)。
8. ディスクへの書き込みの準備ができたなら、**[書き込み]** をクリックします。
-
- 注:** 書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、**[書き込み後、自動的にシャットダウンする]** オプションを選択します。
-
9. 書き込みが完了したら、ウィンドウ ボックスに表示されるオプションのうちいずれかを選択します。
- **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されません。
 - **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じて終了します。

フォト ギャラリー ディスクを表示する

完成したフォト ギャラリー ディスクを、コンピューターのディスク ドライブに挿入します。フォト ギャラリー ビューアーが起動し、自動的にディスクが再生されます。



ディスクが自動的に再生されない場合、またはドライブにアプリケーションをエクスポートした場合は、ディスク/ハード ドライブの CL_Gallery.exe をダブルクリックして、フォト ギャラリーを再生します。

第 7 章:

システム リカバリー

CyberLink Power2Go の **システム リカバリー*** は、ウイルス、システムクラッシュ、ハード ディスクの故障などからコンピューターやデータを保護するための、システム バックアップや復元を行うためのアプリケーションです。

CyberLink Power2Go を使って、システム リカバリー ディスク (Windows の OS およびコンピューター内のすべてのデータ ファイルをバックアップ) を作成することができます。

注:* CyberLink Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、バージョン テーブルを参照してください。

システム リカバリー ディスクの書き込みを行う

コンピューターをバックアップして、システム リカバリー ディスクの書き込みを行うには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの [**システム リカバリー**] オプションの [**リカバリー ディスクの書き込み**] を選択します。[リカバリー ディスクの書き込み] ウィンドウが開きます。

2. [



次へ] ボタンをクリックして、次の手順に進みます。

- 必要に応じて、上のドロップダウンから書き込みドライブを選択します。
- [ディスク タイプ]** のドロップダウンから、Windows のファイルおよびデータをバックアップするディスク タイプを選択します。

注:ディスク タイプは、コンピューターに接続される書き込みドライブと使用する光学ディスクに基づいて選択します。

- [バックアップ メモ]** に、リカバリー ディスクに記録するメモ (コンピューター名やバックアップ日など) を入力します。
- [バックアップを開始]** ボタンをクリックして、コンピューターのバックアップとシステム リカバリー ディスクの書き込みを行います。システム リカバリー ディスクに 2 枚以上のディスクが必要な場合は、次のディスクを入れるようダイアログが表示されます。

7. ウィザードに従ってバックアップ処理を完了します。完了したら **[完了]** をクリックします。

コンピューターを復元する

システム リカバリー ディスクからコンピューターを復元するには、次の操作を行います。

1. コンピューターのディスク ドライブに 1 枚目のシステム リカバリー ディスクを入れます。
2. コンピューターを復元します。
3. コンピューターが再起動すると、システム リカバリーの復元ウィザードが表示されます。
4. **[次へ]** ボタンをクリックして、**[開始]** をクリックして復元を開始します。
5. ウィザードの手順に従ってコンピューターの復元を行います。
6. 復元が完了したら、**[シャットダウン]** をクリックしてコンピューターの電源を切るか、**[再起動]** をクリックして Windows を再起動します。

注: コンピューターを再起動する場合は、ディスク ドライブからシステム リカバリー ディスクを取り出してください。

第 8 章:

ディスク コピー



[ディスク コピー] では、ディスクのコピーを行うことができます。ただし、コピー元のディスク タイプと同じブランク ディスクを使用する必要があります。(例えば、CD のコンテンツを DVD にコピーすることはできません)[ディスク コピー] では、ディスク イメージの保存または書き込みを行うこともできます。

注: コピー保護がされていたり、エラーが含まれるディスクは、内容がコピーできない可能性があります。

ディスクをコピーする

ディスク中のすべてのコンテンツをコピーして別のディスクに書き込むことができます。この機能は、Power2Go フル プログラム モードおよびデスクトップ書き込みガジェットのどちらでも実行することができます。ただし、[ディスク コピー] ウィンドウを開く最初の手順は多少異なります。

ディスクをコピーするには、次の操作を行います。


1. [ディスク コピー] ウィンドウは、次のように開きます。
 - Power2Go フル プログラム モードでは、新規タスク ウィンドウの **[ディスク コピー]** オプションを選択して、**[ディスク コピー]** を選択します。
 - デスクトップ書き込みガジェットでは、 ボタンをクリックして [ディスク コピー] ガジェットを表示し、 をクリックして [ディスク コピー] ウィンドウを表示します。
2. **[読み取り元]** および **[書き込み先]** のドロップダウンから、読み取りドライブおよび書き込みドライブを選択します。
3. 各ディスクの **[読み取り速度]** および **[書き込み速度]** を選択します。選択可能な速度は、書き込みドライブおよびディスクの品質によって異なります。

4. **[読み取りエラーを無視する]** を選択すると、エラーが発生してもディスクのコピーを続行します。
5. **[ハード ディスクにコピーする]** オプションを選択すると、コンピューターのハード ドライブにもディスクのコピーが保存されます (可能な場合)。
6. **[ディスク全体をコピーする]** を選択すると、ディスク全体のコンテンツが書き込み先のディスクにコピーされます。
7. **[コピー枚数]** に書き込みを行う枚数を入力します。
8. 書き込み処理時に、次のオプションを有効にすることができます (可能な場合)。
 - **[書き込みテストを行う]** を選択すると、書き込み前に書き込みテストが行われます。
 - **[書き込みデータを確認する]** を選択すると、書き込み後に書き込みデータを確認します。
 - **[不具合管理を有効にする]** を選択すると、ディスクの不具合を修正して、正常に書き込みが行われます。
9. **[コピー]** をクリックすると、コピーおよび書き込み処理を開始します。
10. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションを選択します。
 - **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。
 - **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。

ディスク イメージを保存する

[ディスク イメージの保存] は、ディスクのバックアップをコンピューターのハード ドライブに取る場合に役立ちます。

ディスク イメージを保存するには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの **[ディスク コピー]** オプションの **[ディスク イメージの保存]** を選択します。
2. ディスクをディスク ドライブに挿入します。必要に応じて、**[読み取り元]** ドロップダウンから読み取りドライブを選択します。
3. **[読み取りエラーを無視する]** を選択すると、エラーが発生してもディスクのコピーを続行します。
4. **[ディスク全体をコピーする]** を選択すると、イメージ ファイルのディスク全体のコンテンツを保存します。
5.  をクリックして、イメージを保存するフォルダーを指定し、必要に応じてイメージ ファイル名を入力します。
6. **[保存の種類]** ドロップダウンから、イメージ ファイルの形式 (P2I または ISO) を選択します。
7. **[保存]** をクリックして、ディスク イメージを保存します。

注:書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、**[書き込み後、自動的にシャットダウンする]** オプションを選択します。


8. 保存が完了したら、ウィンドウに表示されるオプションを選択します。
 - **[ログの表示]** をクリックして、ログを表示します。デフォルトのテキストエディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。
 - **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。

ディスク イメージを書き込む

ディスク イメージは、ディスクのコンテンツおよびファイルの構造を複製したコンピューター内のファイルです。CyberLink Power2Go を使うと、ディスク イメージをディスクに書き込むことができます。

注:CyberLink ISO ビューアーを使って、イメージ ファイルのコンテンツを表示することができます。詳細は、[「CyberLink ISO ビューアーを使用する」](#)を参照してください。

ディスク イメージを書き込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの **[ディスク コピー]** オプションの **[ディスク イメージの書き込み]** を選択します。
2.  をクリックして、読み取り元のディスク イメージを選択します。
3. ディスクを挿入して、**[書き込み先]** のドロップダウンからドライブを選択します。
4. ディスクの **[書き込み速度]** を選択します。選択可能な速度は、書き込みドライブおよびディスクの品質によって異なります。
5. **[コピー枚数]** に書き込みを行う枚数を入力します。
6. 書き込み処理時に、次のオプションを有効にすることができます (可能な場合)。
 - **[書き込みテストを行う]** を選択すると、書き込み前に書き込みテストが行われます。
 - **[書き込みデータを確認する]** を選択すると、書き込み後に書き込みデータを確認します。
 - **[不具合管理を有効にする]** を選択すると、ディスクの不具合を修正して、正常に書き込みが行われます。
7. **[書き込み]** をクリックして、書き込み処理を開始します。

注:書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、**[書き込み後、自動的にシャットダウンする]** オプションを選択します。

8. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションを選択します。
 - **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されません。
 - **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。

第 9 章:

ディスクユーティリティー

CyberLink Power2Go は、ディスクへの書き込み機能に加え、ディスクを管理するユーティリティー (再書き込み可能ディスクの消去、ミュージック CD から音声を取り込み、音声ファイルを他の形式に変換など) を提供しています。[ディスクユーティリティー] ウィンドウでは、ミックス ディスクや仮想ドライブの機能にもアクセスすることができます。

ディスクを消去する

再書き込み可能ディスクの場合、以前に記録された内容を消去することができます。これにより、新しいディスクを買わずに、同じディスクを繰り返し使うことができます。

ディスクを消去するには、次の操作を行います。


1. 新規タスク ウィンドウの [ディスクユーティリティー] オプションの [ディスクの消去] を選択します。
2. ディスクを挿入して、ドロップダウンから [書き込みドライブ] を選択します。
3. 次の消去方法のいずれかを選択します。
 - **高速消去:** ディスクのインデックスを消去します。
 - **完全消去:** ディスクに含まれるすべてのコンテンツを消去します。
4. [消去] をクリックして、消去処理を開始します。


音声を取り込む

[音声の取り込み] 機能は、オーディオ CD の音声トラックを MP3、WAV、WMA 形式でハードドライブにコピーします。

音声ファイルをハード ドライブに取り込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの **[ディスク ユーティリティ]** オプションの **[音声の取り込み]** を選択します。
2. ディスクを挿入して、**[読み取り元]** ドロップダウンからドライブを選択します。


注:新しいディスクを挿入したり、別のドライブに変更する場合は、 をクリックして、最新情報が表示されていることを確認してください。


3. ハード ドライブにコピーする音声トラックを選択します。
4.  ボタンをクリックして、音声トラックの書き込み先フォルダーを指定します。
5. **[設定]** セクションで、出力する音声ファイルの **[形式]** および **[品質]** を設定します。
6. **[実行]** をクリックして、ファイルを取り込んでコンピューターにコピーします。

音声ファイルを変換する

[オーディオ コンバーター] ユーティリティを使うと、音声ファイルを他の音声形式に変換することができます。音声を他の音質で出力したり、ビデオ クリップから音声を抽出することもできます。

音声ファイルを変換するには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの **[ディスク ユーティリティ]** オプションの **[オーディオ コンバーター]** を選択します。
2.  をクリックして、変換元のファイルを選択します。**[開く]** をクリックして、**[オーディオ ファイル コンバーター]** ウィンドウにファイルを追加します。

3.  ボタンをクリックして、変換する音声ファイルの書き込み先を指定します。
4. **[設定]** セクションで、変換するファイルの **[形式]** および **[品質]** を設定します。
5. **[実行]** をクリックして、音声ファイルを変換してコンピューターに保存します。

ミックス ディスクを書き込む

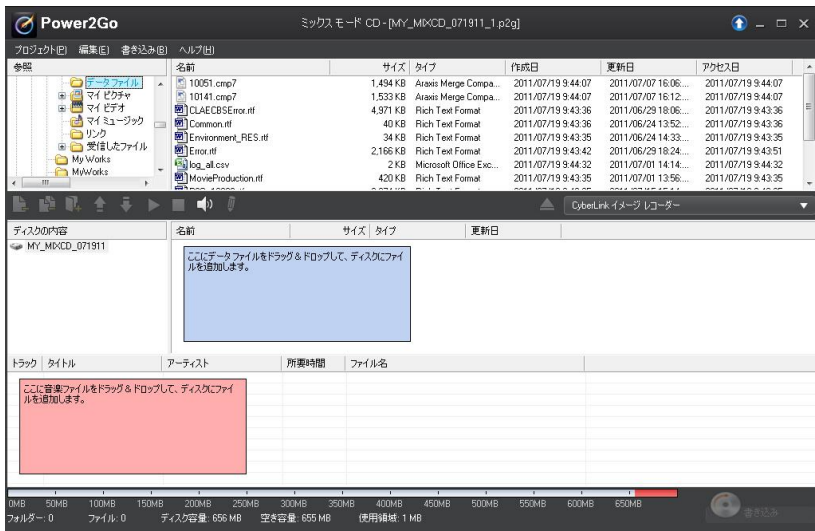
[ディスクユーティリティー] ウィンドウから、ミックス ディスク (**CD Extra** および **ミックス モード CD**) を書き込むことができます。ミックス ディスクには、異なる種類のメディア コンテンツ (データ ファイルやオーディオ CD) を同じディスクに書き込むことができます。

[CD Extra] を使うと、データ ファイルを含むオーディオ CD を作成することができます。**[ミックス モード CD]** を使うと、オーディオ CD 形式の音声ファイルを含むデータ CD を作成することができます。これらのディスクは、再生ソフトウェアで音楽が再生でき、通常データ ディスクのようにデータ ファイルを表示することもできます。

CD Extra/ミックス モード CD を書き込む

CD Extra またはミックス モード CD ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの**[ディスクユーティリティー]** オプションの **[CD Extra]** または **[ミックス モード CD]** を選択します。CD Extra/ミックス モード CD ウィンドウが開きます。



2. **[CD Extra]** ディスクを作成するには、次の操作を行います。


- 音声ファイルを中段のペインにドラッグ&ドロップします。(このペインにフォルダーをドラッグすると、フォルダー中のファイルは追加されますが、ディスクにフォルダーは作成されません。)
- データ ファイルおよびフォルダーを下段のペインにドラッグ&ドロップします。(このペインにフォルダーをドラッグすると、ディスクにフォルダーが作成されます。)


注: 音楽ファイルをデータ ペインに追加すると、データ ファイルとして読み込まれるため、CD プレーヤーで再生することはできません。

3. **[ミックス モード CD]** を作成するには、次の操作を行います。

- データ ファイルおよびフォルダーを中段のペインにドラッグ&ドロップします。(このペインにフォルダーをドラッグすると、ディスクにフォルダーが作成されます。)

- 音声ファイルを下段のペインにドラッグ&ドロップします。(このペインにフォルダーをドラッグすると、フォルダー中のファイルは追加されますが、ディスクにフォルダーは作成されません。)

注:  ボタンをクリックしてファイルを追加したり、他のボタンをクリックしてディスク中の音楽の順番を変更したり、プレビューすることもできます。

4. 音声ファイルを編集したりエフェクトを追加するには、 ボタンをクリックして、CyberLink WaveEditor* を起動します。音声の編集に関する詳細は、CyberLink WaveEditor のヘルプ ファイルを参照してください。音声ファイルの編集が完了したら、更新されたファイルはディスク コンテンツ エリアに再び配置されます。
5. ディスクに含めるコンテンツをすべて追加したら、**[書き込み]** ボタンをクリックします。
6. 必要に応じて、**[データ]**、**[オーディオ CD]**、**[共通]**、**[書き込みドライブ]** タブの設定を調整します (詳細は、[「Power2Go の設定」](#) を参照)。
7. ディスクへの書き込みの準備ができれば、**[書き込み]** をクリックします。

注: 書き込み後にコンピューターを自動的にシャットダウンする場合は、**[書き込み後、自動的にシャットダウンする]** オプションを選択します。

8. 書き込みが完了したら、ウィンドウに表示されるオプションを選択します。
 - **[ログの表示]** をクリックして、書き込みログを表示します。デフォルトのテキスト エディター (ログの表示および保存が可能) に、ログが表示されます。
 - **[OK]** をクリックして、ウィンドウを閉じます。


注:* CyberLink Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、バージョン テーブルを参照してください。

Power2Go 仮想ドライブ

The Power2Go の仮想ドライブは、ディスク イメージ ファイルをマウントして、コンピューターの実際のディスク ドライブと同様にアクセスすることができます。

ディスク イメージをマウントする

Power2Go 仮想ドライブでディスク イメージをマウントするには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの **[ディスク ユーティリティ]** オプションの **[仮想ドライブ]** を選択します。[仮想ドライブ] ウィンドウが開きます。
2. **[仮想ドライブを有効にする]** オプションを選択します。
3. **[イメージの場所]** の  をクリックして、マウントするイメージの場所を選択します。CyberLink Power2Go は、ISO、P2I (Power2Go イメージ)、RDF の形式に対応しています。
4. **[ドライブ名]** のドロップダウンから、マウントするディスク イメージのドライブ名を指定します。Windows エクスプローラーでは、指定したドライブ名で表示されます。
5. **[OK]** をクリックして、ドライブをマウントします。Windows エクスプローラーで表示される他のディスクと同様、ディスク イメージが利用できるようになります。

注: コンピューターを再起動しても、仮想ドライブを無効にするまで、ディスク イメージはドライブとしてマウントされた状態となります。

マウントしたディスク イメージを無効にする

マウントしたディスク イメージを無効にするには、次の操作を行います。

1. 新規タスク ウィンドウの **[ディスク ユーティリティ]** オプションの **[仮想ドライブ]** を選択します。[仮想ドライブ] ウィンドウが開きます。
2. **[仮想ドライブを無効にする]** オプションを選択します。
3. **[OK]** をクリックします。

第 10 章:

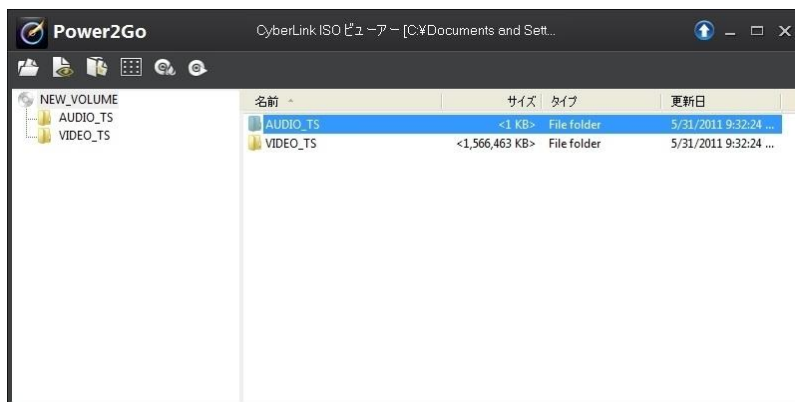
その他の書き込み注意、機能

ディスクに書き込む際に役立つ内容および機能は、次の通りです。


CyberLink ISO ビューアーを使用する


CyberLink ISO を使って、コンピューター ハード ドライブ内の ISO、P2I (Power2Go イメージ)、RDF 形式のディスク イメージを表示することができます。このツールを使うと、イメージ ファイルのコンテンツを表示したり、ファイルを抽出したり、イメージをディスクに書き込むことができます。





CyberLink ISO ビューアーを開くには、Windows のスタート メニューから **[CyberLink Power2Go] > [ISO Viewer]** を選択します。または、ハード ドライブ内のイメージ ファイルを右クリックして、**[ISO ビューアー]** を選択します。



CyberLink ISO ビューアーで実行可能な機能は、次の通りです。

-  ボタンをクリックして、コンピューターのイメージ ファイル (ISO、P2I、RDF 形式) を検索および開きます。イメージ ファイルが開くと、イメージに含まれるすべてのファイルが表示されます。

注:CyberLink ISO ビューアーでのファイルの表示を変更するには、 をクリックします。

- CyberLink ISO ビューアーでファイルをクリックして、 をクリックすると、デフォルトのプログラムが表示されます。
- イメージからファイルを抽出してコンピューターに保存するには、ファイルを選択して  をクリックします。
- 表示されるイメージをディスクに書き込むには、 ボタンをクリックします。ディスク イメージの書き込みに関する詳細は、[「ディスクイメージを書き込む」](#) を参照してください。
- イメージをコンピューターのドライブとしてマウントするには、 ボタンをクリックします。ディスク イメージのマウントに関する詳細は、[「ディスクイメージをマウントする」](#) を参照してください。


マルチセッション ディスク

データ ディスクを書き込む際に、コンテンツが追記可能なマルチセッション ディスクを作成することができます (ディスクに空き容量がある場合)。CD、DVD、ブルーレイ ディスクへの書き込みで、マルチセッション ディスクを作成することができます (追記禁止を選択していない場合)。

マルチセッション ディスクでは、ディスクが一杯になるか、追記禁止を選択するまで、コンテンツを何度も追記することができます。

第 11 章:


Power2Go の設定

この章では、CyberLink Power2Go の設定方法について説明します。[設定/情報] ウィンドウ表示するには、新規タスク ウィンドウの  ボタンをクリックして、**書き込み > 設定** (ディスク作成時) を選択するか、キーボードの Ctrl+I を押します。

注:書き込みタスクを選択していない場合は、[情報] タブのみが表示されます。表示されるタブとオプションは、選択した書き込みタスクによって異なります。

情報タブを表示する

[情報] タブには、選択したディスクドライブ、ドライブ内のディスク、現在のプロジェクトに関する情報が表示されます。項目横の [+] ボックスをクリックすると、詳細情報が表示されます。

新しいディスクを挿入したり、別のドライブに変更する場合は、 をクリックして、最新情報が表示されていることを確認してください。

データの設定を行う

[データ] 設定タブは、データまたはミックス ディスクを書き込む際に表示されます。ここでは次のように設定します。

- **オートラン ディスクを作成する:**このオプションを選択すると、ディスクをディスク ドライブに挿入した時に、データ ファイル (作成中に追加したファイル) を表示するデータ ディスクを作成します。[参照] をクリックして、ディスク挿入時に開くファイルを選択します。ファイルの有効形式は EXE、HTML、TXT です。書き込まれたディスクが挿入されると、ファイルが自動的に開きます。

- **ディスク アイコンを変更する:** Windows エクスプローラーで表示されるディスク アイコンを変更します。[参照] をクリックして、使用するアイコン画像 (ICO ファイル形式) を選択します。
- **ファイル システム:** ディスクのファイル システム (ISO9660/Joliet、UDF 1.5、UDF 2.0、UDF 2.5、UDF 2.6) を設定します。
- **ディスク容量によりコンテンツを自動分割する:** 書き込み先ディスクのサイズに応じて、書き込まれるファイルを自動的に分割します。

オーディオ CD の設定を行う

[オーディオ CD] 設定タブは、オーディオ CD をディスクに書き込む際に表示されます。ここでは次のように設定します。

- **CD TEXT を有効にする:** ミュージック ディスクに関する情報を追加する場合に、このオプションを選択します。各欄にディスクの情報を入力します。
- **CD の全トラックのボリュームを正常にする:** CD 上の音声トラックのボリュームをすべて同レベルに調整します。
- **ディスク容量によりコンテンツを自動分割する:** 書き込み先ディスクのサイズに応じて、書き込まれるファイルを自動的に分割します。
- **トラック間に音声ギャップを挿入:** トラック間に追加する無音部分の長さ (秒) を入力します。

MP3 ディスクの設定を行う

[MP3 ディスク] の設定タブは、MP3 ディスクを書き込む際に表示されます。ここでは次のように設定します。

- **品質:** 書き込み先の MP3 の音質をドロップダウンから選択します。
- **プレイリストを自動的に生成する:** 音楽のプレイリストをディスクに書き込む場合に、このオプションを選択します。

WMA 音質の設定を行う

[WMA 音質] の設定タブは、WMA ミュージック ディスクを書き込む際に表示されます。ここでは次のように設定します。

- **品質:**書き込み先の WMA の音質をドロップダウンから選択します。
- **プレイリストを自動的に生成する:**音楽のプレイリストをディスクに書き込む場合に、このオプションを選択します。

ライブラリーの設定を行う

[ライブラリー] の設定タブは、ミュージック ディスクを作成時にのみ表示されます。このタブでは、CyberLink メディア ライブラリーに使われる監視フォルダーを設定することができます。フォルダーが追加されると、フォルダー内の音楽が、[アーティスト]、[アルバム]、[ジャンル]、[年]、[最近追加] されたファイル毎に整理されるため、ミュージック ディスクを作成時にファイルを簡単に検索することができます。

CyberLink メディア ライブラリーにフォルダーを追加するには、ミュージック ディスクを作成時にメニューから **書き込み > 設定** を選択して、[ライブラリー] タブを選択して、[追加] をクリックします。監視するフォルダーを選択して、[OK] をクリックします。

動画の設定を行う

[動画]* 設定タブは、[ディスク作成] ウィンドウの **書き込み > 設定** を選択するか、キーボードの Ctrl+I を押すと表示されます。このタブでは、VCD または DVD をディスクに書き込む場合に次のように設定します。

GPU アクセラレーションの環境設定

- **ハードウェア ビデオ デコードを有効にする* (可能な場合):**コンピューターが Intel Core i7、NVIDIA CUDA、AMD Accelerated Parallel Processing に対応する場合、このオプションを選択すると、ハードウェア アクセラレーションで動画がデコードされ、ディスクに高速に書き込まれます。

- **ハードウェア ビデオ エンコードを有効にする* (可能な場合):**コンピュータが Intel Core i7、NVIDIA CUDA、AMD Accelerated Parallel Processing に対応する場合、このオプションを選択すると、ハードウェア アクセラレーションで動画がエンコードされ、ディスクに高速に書き込まれます。

注:* CyberLink Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、バージョン テーブルを参照してください。

共通の設定を行う

[共通] の設定タブは、ほとんどのディスク タイプを書き込む際に表示されません。ここでは次のように設定します。

- **ディスク名:** ディスクの名前を入力します。ディスク名はディスクの再生時に、ディスク プレーヤー上に表示されます。
- **元の日時を使う:** このオプションを選択すると、ファイルのディスクに書き込みに各ファイルの元の日時が使用されます。
- **現在の日時を使う:** このオプションを選択すると、ファイルのディスクに書き込みに現在の日時が使用されます。
- **この日時を使う:** このオプションを選択すると、ファイルのディスクに書き込みに指定する日時 (手動で入力) が使用されます。

書き込みドライブの設定を行う

[書き込みドライブ] の設定タブは、ほとんどのディスク タイプを書き込む際に表示されます。ここでは次のように設定します。

- **書き込みドライブ:** ディスク書き込み用のドライブが表示されます。
- **書き込み速度:** ドロップダウン リストから書き込み速度を選択します。表示される速度は、コンピュータにインストールされているドライブによって異なります。
- **コピー枚数:** 書き込むディスクの枚数を入力します。

- **バッファー アンダーラン防止を有効にする**:このオプションを選択すると、中断することなくデータがディスクに書き込まれます。(データが中断されるとディスクは使用できなくなります。)
- **書き込み前に書き込みテストを行う**:このオプションを選択すると、書き込みを行う前に、書き込みテスト (ディスクが選択した速度で確実に書き込みが行えるか) を行います。

注:バッファー アンダーラン防止が有効になっている場合、または過去に同じ設定で書き込みを行っている場合は、書き込みテストは行う必要はありません。

- **追記禁止**:このオプションを選択すると、ディスクの追記が禁止されます。一度書き込みを行うと、次に書き込みを行うことはできません。このオプションを選択しない場合は、マルチセッション ディスクを作成することができます。詳細は、[「マルチセッション ディスク」](#) を参照してください。
- **書き込みデータを確認する**:書き込み後に書き込みデータを確認する場合は、このオプションを選択します。データが正しく書き込まれたか素早く確認するには **[高速確認]** を、データを個別に確認するには **[完全確認]** を選択します。[完全確認] には時間がかかります。
- **不具合管理を有効にする**:ディスクの不具合を修正して正常に書き込みを行う場合は、このオプションを選択します。

第 12 章:

テクニカル サポート

この章では、テクニカル サポートについて説明します。ユーザーが回答を見つけるために役立つ情報が含まれています。ご購入の代理店、販売店にお問い合わせいただくこともできます。

テクニカル サポートにお問い合わせになる前 に

CyberLink が提供する以下のサポート オプション内容をご参照ください (無料)。

- プログラムに組み込まれている「ユーザーガイド」または「オンラインヘルプ」を参照する。
- CyberLink Web サイトのサポート ページの「ナレッジベース (FAQ)」を参照する。

<http://jp.cyberlink.com/support/index.html>

FAQ にはユーザーガイドまたはオンライン ヘルプよりも新しい情報が掲載されている場合があります。

テクニカル サポートに電子メールまたは電話で連絡する際には、次の情報をあらかじめご用意ください。

- 登録済み **プロダクト キー** (プロダクト キーは、ソフトウェア ディスク ケース、ボックス カバー、または CyberLink ストアで製品購入時に受け取ったメールに記載されています)。
- 製品名、バージョン、ビルド番号 (通常、ユーザー インターフェイス上の製品名をクリックすると表示されます)。

- お使いの Windows OS のバージョン。
- システムのハードウェア デバイス (キャプチャー カード、サウンド カード、VGA カード) およびその仕様。
- 表示された警告メッセージの内容 (メッセージの内容はメモするか、スクリーンショットをとっておいてください)。
- トラブルの詳しい内容と、発生した状況。

Web サポート

CyberLink の Web サポートは、24 時間いつでも無料でご利用いただけます。

注: CyberLink の Web サポートをご利用いただくには、まずメンバー登録を行う必要があります。

CyberLink では、FAQ を始めとしたさまざまな Web サポート オプションを、次の言語で提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	http://www.cyberlink.com/support/index.html
中国語 (繁体字)	http://tw.cyberlink.com/support/index.html
日本語	http://jp.cyberlink.com/support/index.html
スペイン語	http://es.cyberlink.com/support/index.html
韓国語	http://kr.cyberlink.com/support/index.html
中国語 (簡体字)	http://cn.cyberlink.com/support/index.html
ドイツ語	http://de.cyberlink.com/support/index.html
フランス語	http://fr.cyberlink.com/support/index.html
イタリア語	http://it.cyberlink.com/support/index.html